

(教材第3号様式)

## 吉田学術教育振興会

### 令和7年度 教材活用状況報告書

報告日 令和 8年 1月 30日

公益財団法人吉田学術教育振興会  
理事長 山倉 修一 殿

学校名	福岡市立笹丘小学校
報告者	教諭 引坂 風雅 (連絡先 TEL : 092—731—0756 )
寄贈品	・ 酸素・二酸化炭素モニタ 検ちゃんαDOC-01FS ・ 理科実験用ガスコンロ
活用状況 (使用者、使用内容、使用頻度等)	・ 酸素・二酸化炭素モニタ 検ちゃんαDOC-01FS 【使用者】6年生 【使用内容】 理科「ものの燃え方」 燃焼実験を行い、燃焼による酸素と二酸化炭素の割合の変化を観察する実験 【使用頻度】 1学期 1時間×4クラス分  ・ 理科実験用ガスコンロ 【使用者】4・5・6年生 【使用内容】 (4年生) 理科「ものの温度と体積」 金属の温度変化と体積変化の関係を調べる実験 【使用頻度】1時間×3クラス分 理科「ものの温まり方」 金属・水の温度変化と温まり方の関係を調べる実験 【使用頻度】2時間×4クラス分

	<p>(5年生)</p> <p>理科「ものの溶け方」 温度と溶解の関係を調べる実験 【使用頻度】 1時間×3クラス分 溶けているものを取り出す蒸発乾固の実験 【使用頻度】 1時間×3クラス分</p> <p>(6年生)</p> <p>理科「水溶液の性質」 蒸発乾固の実験 【使用頻度】 1時間×4クラス分</p>
申請当初の 目標達成状況	<p>○子ども達一人ひとりが実験を行い、目の前で事象を確認できたことで、確かな知識の定着につながった。</p> <p>○実験結果をもとに、科学的な探究にもとづいた考察を行うことができ、学習内容への理解を深めることができた。</p>
教育的効果について 所見等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理科実験用ガスコンロは操作が簡単であったため、児童が事象を観察するために何度も実験に取り組むことができ、体験を通じた理解の深まりが見られた。</li> <li>・酸素・二酸化炭素モニタ 検ちゃんαDOC-01FSについては、燃焼の様子を観察する実験において、酸素の減少と二酸化炭素の増加が同時かつ連続的に起きていることを数値としてとらえやすく、燃焼と気体の変化の関係をより具体的に理解することができた。</li> </ul>

#### 活用状況等の写真等（当日の様子など）

記録なし
<p>今後の活用見通し・課題</p> <p>毎年実施する単元であるため、今後も継続的に活用していく予定である。また、酸素・二酸化炭素モニタ 検ちゃんαDOC-01FSについては、酸素と二酸化炭素の増減を連続的に確認した後、ICT ツールや表に記録するなど、より分かりやすく整理・分析できる記録方法を模索し、学習効果をさらに高めていきたい。</p>